

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと。美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものにふさわしい自覚と誇りに生きましょう。

奈良は未来をひらくまち。青少年は健康で、はつらつと、正しく強い人間になりましょう。

奈良は善意のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあいましょう。

奈良は清潔で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましょう。

奈良はのびゆくまち。市民の創意で、伝統と調和のとれた新しい住みよいまちづくりをしましょう。

奈良市民だより

No.649

市民のうごき	
1月15日現在(前月比増)	
人口	344,907人(182人)
男	166,163(100)
女	178,744(82)
世帯数	113,577(52)

死亡100人中63人以上が成人病

胃ガン早期発見をめざして市内をかけ回る検診車



成人病の予防と早期発見の ためには、年に一回のペース

もつと健康診断を受けよう

全受診者の45%に「何らかの異常」所見

昭和六十二年中に亡くなった奈良市民の病気による死因を見ると、ガン・心臓病・脳卒中などの成人病が一ばん多くて、総死亡者の数の約六三・四%を占めています。

1月17日は成人病予防週間

成人病は習慣病とか生活病ともいわれ、日ごろの生活習慣と深いかわりがあり、四十歳を過ぎたころから

ら急増しています。成人病はふだんの健康管理に気を付けていれば、ある程度は防ぐことができます。また、健康診断などで早期発見し、治療することが大事です。

二月一日～七日は「成人病予防週間」です。この機会に成人病予防について考えてみましょう。

いと思われれます。それにしても、早期発見が重要な成人病の予防のためには、とくに自営業の人や家庭の主婦らが、

進んで積極的に受診することが望まれます。

受診者のうち、精密検査で身体に何らかの異常があると判定された人は約四五%の一萬二千七百三十三人にのぼっています。そのうち多いのはやはり心臓異常と高血圧で、これは何らかの異常があると見られる人の六五%にも上っています。最近では、糖尿病と判定される人がまた多くなる傾向にあります。

また、死因

のトップを占めるガンの中で、その二割以上を占める胃ガンに対しては市の検診車が市内を巡回して積極的に検診を進めています。昭和六十二年の受診者は五

精密検査受診者の症状別人数

症 状	人 数 (%)
心電図異常	4,139 (32.5)
高 血 圧	3,032 (23.8)
高血圧境界領域	1,160 (9.1)
肝 疾 患	1,062 (8.3)
糖 尿 病	1,055 (8.3)
貧 血	968 (7.6)
そ の 他	9,118 (71.6)

カッコ内は精密検査で異常のあった計12,733人に対する割合

昭和六十二年の受診者は五

一般健康診断や胃ガン検診のほかにも、子宮ガン検診、健康手帳の交付、ねたきりの人への訪問指導、健康相談、健康教室などの事業を行い予防をはかっています。

これらの事業は、そのつど「市民だより」でお知らせしますが、くわしいことは市衛生課または市保健センター(いずれも電話二二二一)へ問い合わせてください。

合理的な食生活 規則正しい運動

ストレス解消も

成人病は、自覚症状があらわれて初めて医者にかかるというのはいかに危険で、そのときにはすでに重症になっていることが多いといわれています。

それを防ぐには、まず生活習慣を見直すことが大切です。

- ① 具体的には合理的な食生活、規則正しい運動などです。こうした中で、とくに注意したいのは食塩のとりすぎと高血圧、動物性脂肪のとりすぎと動脈硬化などの関係で、成人病の多くは食生活と密接に関係していることを知るべきです。それにはつぎのような点に気をつけ、自ら努めて成人病を予防するようにすることが大切です。
 - ② 動物性脂肪をひかえ、植物油をつかいましょう。植物油は血液中のコレステロールを低下させる働きがあります。
 - ③ 野菜・海藻・果物を十分とりましょう。ビタミン・カルシウム・食物繊維を多くとることが大切です。
 - ④ 塩分のとりすぎを防ぎ、薄味に慣れるようにしましょう。塩分は一日十g以下に押さえましょう。
 - ⑤ 砂糖の取りすぎに注意しましょう。一日五十g以下にしましょう。
 - ⑥ アルコールは控え目にしましょう。飲みすぎは肝臓障害や消化器の病気のもとになります。
- また、運動で健康増進をはかるとともに、積極的に気分転換をはかり、ストレスをためないようすることも成人病予防に欠かせないことです。

所得税、市民税の申告

16日～来月15日 数々の注意事項

昭和六十三年分の所得税と市・県民税の申告は、二月十六日から受け付けが始まります。申告期限は三月十五日ですが、期限間近になると受付場は大変混雑しますので、申告はできるだけ早くしてください。

△所得税の確定申告(税務署へ提出)をしなければならぬ人
△事業をしていて、地代や家賃収入のある人、土地や建物を買った人で、昭和六十三年中の所得金額の合計額が基礎控除(三十三万円)・配偶者控除(三十三万円)・扶養控除(三十三万円)など所得控除の合計額を越える人。

△サラリーマンのうち年収が千五百万円を越える人、二カ所以上から給与を受け取っている人、給与以外の所得金額が二十万円以上ある人。

△雑損控除、医療費控除、住宅取得控除などを受けられる人(還付申告)。
△市・県民税の申告(市役所へ提出)をしなければならぬ人。

昭和六十四年一月一日現在奈良市内に住所がある人、奈良市内に住所はないが事務所、事業所または家屋敷のある人で、該当者には原則として申告用紙を郵送します。

ただし、つぎのような人は申告の必要がありません。
△所得税の確定申告をした人
△昭和六十三年中の収入が給与だけで、勤務先から給与

場 所	期 間	時 間	
		第1・第3土曜日は正午まで	第2・第4土曜日は正午まで
奈良税務署	2月16日～3月15日 (第2・第4土曜日は休み)	9:00～17:00	10:00～15:30
近鉄百貨店奈良店	2月20日～2月22日	9:30～15:30	9:30～15:30
西民部館	2月20日～2月22日	9:30～15:30	9:30～15:30
西民部館	2月20日～2月22日	9:30～15:30	9:30～15:30
市役所	2月16日～3月15日 (日曜日は休み)	8:30～17:15	8:30～17:15
西部公民館	2月22・23日	8:30～17:15	8:30～17:15
北部出張所	2月22・23日	8:30～17:15	8:30～17:15

△確定申告説明会(消費税に
ついて)も説明があります
とき 二月七日(火)午後
一時半～四時 市役所

中央公民館(上三条町)
○所得税確定申告の相談と受け付け(上表のとおり)
○無料相談所では税理士が相談に応じてくれます。
○市・県民税申告受け付け
上表のとおり
○問い合わせ 所得税の確定申告は奈良税務署(電話二〇一)、市・県民税の申告は市役所市民課(電話二二二)へ。

国民健康保険
交通事故と
交通事故や傷害事件のよう
に、第三者(加害者)の行為
だけが原因の場合も国民健康
保険が受けられます。ただ、そ
の費用は原則として加害者が
負担すべきものですから、国
保を使って治療した場合は、
国保が一時的に返金、あとで
加害者から返してもらおうと
いう形をとっています。
従って、市役所保険課(二
条大路南一丁目、電話二二二)
へは必ず届け出て、必要
な手続をしてください。
交通事故にあったときはつ
き、市役所保険課へ届け出る。
④市役所保険課へ届け出る。
⑤示談は慎重に。

特別土地保有税は
今年中に申告納付
昭和六十三年一月一日から
同十二月三十一日の間に、市
内五千平方メートル以上の土地を
取得した人には、「特別土地
保有税」がかかります。
該当する人は、市資産税課
(二条大路南一丁目、電話二二二)へ申告してください。

農業委員の選
挙人名簿縦覧
市選挙管理委員会では農業
委員会委員の選挙人名簿をつ
ぎの日程で縦覧します。
①昭和六十四年一月一日現在
市内に住み、昭和四十四年
四月一日以前に生まれた人
②十以上の農地を耕作して
いる人とその配偶者または
同居の親族で年間およそ六
十日以上耕作にたずさわっ
ている人
③犯罪等の欠格事項に該当し
ない人
有権者の方はぜひ名簿を確
かめておいてください。

市営住宅空き家
の入居者を募集
市住宅課(二条大路南一丁
目、電話二二二)が市営住
宅空き家の入居者をつぎの通
り募集します。
空き家は一種住宅の第十八
号市営住宅(六条西一丁目)
二戸、第二十号市営住宅(二
条町)二戸、二種住宅の第十
六号市営住宅(母子向、西木
辻町)一戸です。
申し込み受付日は二月十八
・二十・三十一日、抽選は二
月二十日。入居申込用紙は二
月十日～二十一日に希望者に渡
します。申し込み・問い合わせ
は同課へ。

加害者? 生活騒音は平素の近所づきあいが心理的に緩和

私たちの回りに音があふれています。快い音、楽しい音もあれば、不快な音、嫌な音もあります。後者の代表は騒音です。工場・工事による騒音、自動車騒音、暴走族騒音などは、昭和四十年代にこれを規制する法律がとられ、飲食店の深夜営業などのカラオケといった近隣騒音などについて、自治体で条例が制定されるなどしてある程度規制されるようになってきました。



ある人が楽しく音楽を聞いている場合、その人にとってそれはたまたまの音でなく美しい音であって、ほかの人にはただの騒音にしかすぎないことがあります。また自分には愛らしく聞こえる愛犬の鳴き声も、他の人には耳ざわりなものかもしれません。一人ひとりが気を配り、近隣の騒音の発生源にならないよう生活の心がけがたいものです。

ところで、近隣騒音のトラブルを防ぐには、日ごろの近所づきあいが大切、とよくいわれます。昭和五十八年環境庁が行なったモニター・アンケートの結果でも、日ごろのおつきあいが深いほど、相手側の騒音をうるさく感じないという結果が出ています。近所とのコミュニケーションがうまくいっていないと、小さな音でもうるさく感じてしまいがちです。また、音について注意されたほうも、素直な気持ちで相手の言い分を理解できずに「カーッ」となってしまうかもしれません。近隣騒音は、自分の家から出る音が近所の家に迷惑をかけているかどうか分からない場合が多いので、時々うるさいかどうか、お互いに気遣い、確かめ合えるような関係を、日ごろからつくっておきたいものです。

下水道事業 受益者負担金 (第3期分) の納期です

2月1日～28日は
このほどつぎの各町の一部計
百五十五戸で浄化槽のいらない
水洗便所が使用できるよう
になりました。市内でこれま
での分とあわせて五万二千二
十二戸が下水道の便益を受け
ることになります。なお、排
水設備工事をする場合は市が
公認した排水設備工事公認業
者に発注してください。
横井町▽西町▽四条大路三
丁目▽同四丁目▽法華寺町
▽鶴舞東町▽中山西三丁目
▽中山町▽押熊町▽宝来町
▽学園南二丁目▽あやめ池
南一丁目▽七条二丁目▽二
名町▽中町▽石木町

『一日一日を大切にしよう』

新成人四、一〇〇人が燃える！

一月十五日の「成人の日」、新成人を祝う奈良市成人式が市中央体育館（法蓮町）で開かれまし

た。ことし、成人を迎えた二十歳の若者は市内で六千八百人。そのうち四千八百人が出席しました。

式典では、まず西田市長が「新しい時代の担い手として、シルク博で世界に広まったこの奈良を名実ともに世界の奈良としていただくさ

い。お互いに力をあわせ、ともに考えともに行動してください。そして、常に夢と希望を持ってください」とのあいさつの中に、とくに「大人とは、市民とはどういうものかを考えてほしい」「国際的な視野を持ってほしい」「自分を大切にしたい」と新成人に対する期待を力強く述べました。岡本第一市議会議長も「二十一世紀はみなさんの時代です。社会の一員として、新しい時代を担ってほしい」とあいさつしました。

このあと、新成人を代表して五条山新町の中村仁美さんが「これからは視野を広め、直面するさまざまな問題を解決する能力を身につけたい。また、目標に向かって前進し、実り多い豊かな人生を送れるよう一日一日を大切にしていきたい」と新成人としての決意を述べました。このあと第二部の記念アトラクションでは庄野真代コンサートを楽しみました。

障害者の成人式も

市長、30人を励ます

また、この日、市心身障害者（児）福祉協会連合会主催の成人式が市総合福祉センターで行われ、約三十人の新成人が出席しました。

式では西田市長が「いつまでも大きな夢と希望を持って努力し、これからのがんばってください」と新成人を励ますあいさつ。つづいて、西田市長らが一人ひとりに励ましの言葉を述べた。かけながら記念品を贈りました。これに対し、新成人代表の柴田秀和さん（神殿町）ら三人がお礼の言葉を述べました。

秀和さんの母親の栄子さんは「障害にうち勝って立派に成人した姿を見るのができ、こんなにうれしいことはありません。病院や学校の先生をはじめ数知れない方に助けてもらって育ったこの子を見ると涙が出ます。本当に皆さまに感謝しています」と感謝の言葉を語っていました。

2月7日は北方領土の日

わたしたちのふるさとを
わたしたちの声で



北方領土返還要求運動シンボルマーク

そのあと、新成人を囲んでの軽食会が開かれ、なごやかな雰囲気の中で歓談が続きました。

北方領土の一括返還を実現して日ソ平和条約を締結し、両国間に真の相互理解に基づく安定的な関係を確立することは、我が国、対ソ外交の基本的課題です。

華やかな中に何かが欠けて...

ママさん特派員 綾仁たか子（38歳）

（あやめ池南七丁目）

成人式を見て

今年度の成人式は平成元年の幕明けにふさわしく好天に恵まれ、奈良市でも、会場となった市中央体育館に約四千八百人の新成人を迎え、式典が催されました。

昭和天皇へ哀悼の意を表して、「平服で」と市教育委員会からの呼びかけにもかかわらず、華やかな振袖姿が目立っていました。おそろいのように白いショールを肩にかけ、きれいに髪を結い上げて、百花繚乱（りょうらん）まるで繁栄日本の縮図を見るようでした。

これから社会を担っていく若者たちは、成人式について

どのような考えを持っているのでしょうか。何人かに尋ねてみました。



片山さんの聡明な話しぶりに感心するとともに、このような若者も育っていることに安心しました。また成人するまでの二十年間の家庭教育の大切さも感じました。

次にもう一つの成人式会場である市総合福祉センターへ行き、市心身障害者（児）連合会主催の成人式で、約三十人が出席。

やめよう
違法駐車

消防活動の
さまたげにもなります

富雄から来た片山雅子さんは「母が『学生なのに貸衣装を借りてまで振袖を着る必要はない』と言いました。私も洋服で十分だったので、この洋服もアルバイトをして自分で買いました。成人し、法的にも『大人』と認められるので、そのことを十分に自覚していきたい」と語ってくれました。

「障害を持っていても個人の責任を果たしてほしい」「親が高齢になって、体力的に不安になってきている」「安心して働ける職場を開放してほしい」

子どもが成人式を迎えたことを喜ぶ一方で、その将来について不安を抱えておられるお母さんの第一声でした。市長さんを迎えての式の雰囲気は、小じまりとして、なごやかなもので、中央体育館にはなかった「何か」が感じられました。

二つの成人式を見て思ったことは、物質的には十分に恵まれた現代の若者が、精神的にも豊かな人間に成長し、弱い立場にいる人にも心配りをして誰もが幸福に暮らせる社会の実現に努力してほしいということです。

奈良大宮RCが
自動車寄贈
市社会福祉協議会へ

奈良大宮ロータリークラブ（正田憲男会長、会員六十三人）が、クラブ設立十周年記念事業の一環として、市社会福祉協議会へ自動車一台などを寄贈、一月二十四日奈良ホテルで行われた記念例会の席上、正田会長から同協議会会長・西田市長に目録を贈りました。

希望に胸ふくらませ集う新成人たち

新成人の主張を述べる
中村仁美さん

多宝塔は今秋復原

桑原英文 (35歲)

(写真家・中院町)

本堂にお参りする。入口に住職の田畑賢住さんが座って書き物をしている。この本堂に安置されている大日如来像を多宝塔に移すのだ。明治維新後、寺は衰微の極に達し、境内は荒れ、多宝塔は他寺に移った。

昭和になって本堂をはじめ

諸堂を修復、庭園も五十一年に復原。やつと多宝塔建立までこぎつけた。困難なことは材料集めである。関係者からは外国産の物を使ってほしいと要望もあつたが断つた。この風土に合うのは日本の檜（ひのき）である。吉野の檜を使うことにした。

その心意気に感動した唐招提寺の森本孝順長老が長さ十一呎もの心柱を寄贈してくれた。塔の高さ十四呎。内部には仏画で曼陀羅（まんだら）を描く。建物は今秋に完成。落慶は来春になる予定だ。

本堂では住職さんと大日如来が向かいあって座っている。「申し訳ない。必ず多宝塔を建立して移っていただきます」と、毎日心の中で話していたそうだ。

像の前に座ると、住職さんが蠟燭（ろうそく）に火をつ



緑に包まれた円成寺（正面が山門、その左
シートで覆われたのが建設中の多宝塔）

→ **サークル登場**
英会話サークル
コスモス
米人講師のもとに
家庭的なごやさ

平城西公民館の英会話講座
終了後発足した「英会話サークル・コスモス」は、毎週水曜日午後一時半からみっちり二時間、米人講師の指導を受けて学習しています。写真講義中はすべて英語ですがメンバー全員が主婦ということもあって家庭的なごやかな雰囲気です。頭の体操のつもりという人、英語でしゃべ



れるようになりたいと願う人、先生のきれいな英語で耳の掃

いな英語で耳の掃除を……という人などなど、各人それぞれの思惑はさまざま。熱心でやさしい先生に引っぱられながら、生きた英語を学んでいきます。Ⅱ写真はすべて英語で進む講義

※このサークル

木さん（宮の
八六二七）ま
でご連絡くだ
さい。

一月二十三日、毎年恒例の光仁会が開かれている大安寺へ行ってみました。六十二歳で皇位につかれた光仁天皇の

いんたびゅう

開運長寿・がん封じ
のご利益を求めて…
～大安寺の笹酒～



夫をがんに奪われて——京都市東山区から来たという高橋好子さん（70歳）は、
「九年前、夫をがんで亡く

朝から時おり強く降るあいにくの雨にもかかわらず、たくさんの人々がご利益を授かるにいられていました。

しました。笹酒のことはテレビで知り、去年に続いて二回目です。子どものためにも、私までがんにならないよう普段から油こいものを控えるなど食事に気をつけたり、よいな神経をあまり使わないよ



「もう何年も前からずーつと来ています。一年でも抜けると何か起こるのではないかと気持ちわるいので。おかで毎日健康に過ごさせても



がいっぱいあって。電車に乗
る時は折りたたみ自転車を持

こんどは仮住居でない

駒 美 智 (28歳・主婦)

左京二丁目

また、奈良に住み始めた。十年前、学生として来た時は、憧れの地に来たという感激からかなり貪欲（どんよく）に、あちこちを歩き回った。見るものである。あまり人の来ない街角や店を見つけては、自分は観光客ではなくこの街の住人なんだと、ヘンな満足感をおぼえたりもした。

もの、感じるものがたくさんあり、行く先に困ることはなかった。ときどき、特に気に入った場所や風景に出合ったりすると、何日も同じところに通い詰め、悦に入っていた

いま思えば、それは早く奈良に馴染（なじ）みたいという思いと、現在の生活は仮り住まいでいつかは故郷に帰らねばならないという気持ちが複雑に入り交じり、少し焦っ

うに心がけています」と。

毎年欠かじません——八尾市から毎年かかさず来ているという森川芳広さん(67歳)、ことしも静子夫人(64歳)とど一緒。

そして、静子夫人も、「がんは一番こわい病気。今日も特別祈とうを受けました。毎日孫二人の守りをしてるので元気でいなければ」



と文字通りお元気。
折りたたみ自転車で——学園前から自転車であたとおっしゃるのは鶴舞西町の榎木利男さん（67歳）

「十年前に大阪からかわつてきました。奈良はいいですなあ、自転車で行ける良い所



歌が聞こえる。大日如来はじ
る。微笑んでいるようにも思
つと耳をすませて聞いてい
えた。

ていたのかもしれない。
五年たっても、故郷に帰ってからも、奈良でのいろいろな行事や気候が季節ごとに出てい出され、「ああ今ごろは」と遠くから懐しんだものだった。

昨年の四月に結婚して、また奈良市の住人となった。学生時代の友人も何人かいて、まるでそのころに戻ったような気分である。でも、もう焦る必要はないのだ。もう仮り住まいではないのだから、ゆっくり時間をかけて馴染んでいこう。

昨年、奈良はとてもにぎやかだった。シルクロード博や藤ノ木古墳などで、世間の注目を集めた年だった。今年に入ってもさまざまな行事が目白押しだが、徐々に落ち着き始めてきたこの街を、学生時代とは違った視点で、ゆっくりと眺めていきたいと思う。

って、明日香の方へも出かけていきます。私の健康法は自転車で走り回ることです。今日も元気に来ることができ、がん封じのごりやくがいたただければありがたいですなあ」笹酒のおかげで、ちよっぴり赤く染まった頬は健康そのものでした。

熱心に祈とうを受けられ
笹酒をありがたそうについで
もらっている人、おすそわけ
と水筒などに入れてもらって
いる人、またしみじみと味わ
って飲んでいる人……。笹の香
りとお酒の香りが混じって何
ともいえない芳香がただよ
う。みなさんまた来年も元氣
に訪れていただきたいです
ね。

必死で文化財守護

市内各地で消防訓練、東大寺へは百三十人を動員

文化財防火週間

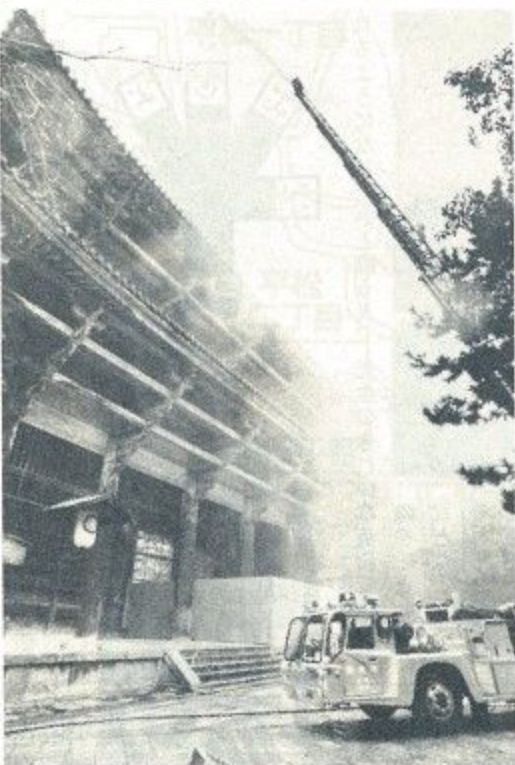
昭和二十四年一月二十六日の法隆寺金堂焼失を機に、文化財への防火意識を高めようと、この日を中心として「文化財防火週間」(一月二十三日〜二十九日)が設けられ、今年で三十五回目を迎えました。

世界に誇る文化財の宝庫「奈良」では、毎年この週間に社寺での消防総合訓練をはじめ、各社寺への立入り検査や防火パトロールなどさまざまな運動を繰り広げながら、文化財の防火を呼びかけています。

今年の文化財消防総合訓練は、週間より一足早く二十二日に行われた富雄の霊山寺を皮切りに、二十三日には東大寺で、文化財防火デーの二十六日には奈良国立博物館で、そして最終日の二十九日には秋篠寺と四カ所で行われました。

とくに昨年三月十二日火災で中興院を焼失した東大寺では、東・中両消防署員と東大寺の自衛消防隊員ら約百三十人が動員され、大規模な消防訓練が展開されました。

訓練は、南大門(国宝)で仁王像の解体工事の足場丸太に、観光客が投げた煙草の火が着き南大門が炎上。またその飛び火で東側の校倉造りの経庫(国宝)も延焼中とい



う想定で行われました。午前十時南大門で発煙筒が焚かれ訓練開始。境内巡回中の職員がこの煙に気づき火災発生を消防本部へ通報、と同時に東大寺の自衛消防隊が動員し、消火器や小型動力ポンプで初期消火活動。延焼を食い止めようと懸命の放水が続く中、約四分後東・中両消防署からサイレンを鳴らし急行したはしご車二台、ポンプ車六台の計八車両が現場に到着。ポンプ車は、約百メートル離れた鏡池からホースを延ばし、そしてはしご車はアームをいっばいにあげ、地上と空中からの一斉放水が始まると、南大門はたちまち水煙に包まれました。

訓練はおよそ二十分で終了。訓練を終始見守っていた狭川宗玄・東大寺別当が、自衛消防隊員を前に「昨年、不幸にも東大寺から火災が発生しましたが、二度とこのようなことのないよう日ごろから注意することが大切」と防火への決意を新たに、中西敬一・東消防署長が「熱心で気合のこもった訓練でした。今日の訓練を生かし貴重な文化遺産を守るため、日ごろから防火に心がけてください」と訓示し訓練を締めくくりました。

伸ばし切ったハシゴ車からの放水で水煙に包まれた東大寺南大門

文化財を守ろう

小学生から647点

防火ポスター

文化財防火週間(一月二十三日〜二十九日)にちなみ、

市教育委員会が市内の小・中学生から募集した文化財防火ポスターに六百四十七点もの応募がありました。作品は、子どもたちの文化財に対する愛護精神があふれ、火災の恐ろしさが巧みな

この日訓練が行われた東大寺には、世界最大の木造建造物の金堂(大仏殿)など、国宝七件、重要文化財十六件の建造物のほか貴重な文物が多数保存されているだけに、訓練は真剣そのものでした。現在奈良市には国宝百十八件、重要文化財四百九十二件の有形文化財をはじ

め、多数の文物があります。これら先人たちが大切に守り伝えてくれた文化財を、一つも失うことなく後世に引き継いでいくことが私たちの大きな役目です。一瞬にしてすべてを灰と化してしまう

市消防出初め式

88人と2団体表彰

新春恒例の奈良市消防出初め式が一月八日午前九時半から法蓮町の市鴻ノ池運動公園で行われました。これは奈良市消防の伝統的消防精神を奮い起こし、消防隊の意気高揚をめざして毎年行われているものです。

この日参加したのは市消防職員二百四十七人、市内の消防分団から七百五十三人、婦人消防クラブから百四十人の計千四百四十人の精鋭とハシゴ車、シノノケル車、救助工作車など十二車両の市消防機動隊と各消防分団の小型動力ポンプ十八台。

今年は折悪しく雨模様で、メインイベントの放水演習は

防クラブに表彰状が贈られました。このあと岡本栄一市議会議員らが祝辞を述べて式を終えました。

表彰された方々

(順不同・敬称略)

【知事表彰】山辺敏一(富雄) 北良夫(柳生) 徳田隆(大柳生) 狭川奈良蔵(若草) 吉田正一郎(都路) 杉本一夫(伏見) 谷口清志(辰市) 中村稔(東市)

【県消防協会長表彰】杉本吉男(狭川) 飯倉悟(田原) 虎杖襄(明治) 山田輝男(三笠) 水野武雄(春日) 安立須佐三(同) 成川忠之(富雄) 大西茂男(大安寺)

【市長表彰】岡田博康(東里) 下裏三嗣(精華) 奥西潔(狭川) 吉田昭彦(東市) 前二一(柳生) 上岡公雄(大柳生) 白井哲夫(同) 今中博和(同) 藤田登喜男(辰市) 辰己龍一(帯解) 今崎善史(精華) 島田勝弘(三笠) 山村末信(若草) 中島克二(白毫寺) 高橋義徳(大安寺) 増田健治(同) 東澤八朗(平城) 田場敬造(柳生)

寒げいに延べ1,600人

早朝、意気軒高

大寒といふのに朝の最低気温が一〇・八度と五月上旬なみの陽気となつた一月二十日、午前六時から中央体育館を中心会場に第十七回奈良市剣道・柔道・なぎなた寒げい大会と参禅会が行われました。



まだ明けやらぬ中を会場につめかけた参加者は元気がいっぱい。中央体育館に集まった参加者に、久保田正一・市教育長は「三日間とも休まず参加し、大いに武道に励んでください」と激励。

このあと、それぞれ剣道・柔道・なぎなたと座禅の各会場に分かれて猛練習に入りま

こが行われ、元気なかけ声が体育館いっぱいに響いていました。富雄中二年の平野美登里さんは「中学校に入ってから剣道をはじめました。今日の寒げい大会に参加してとても楽しいです」と話し、切り返し、かかりげいなどに汗を流していました。

この寒げい大会と参禅会には三日間で延べ千六百人が参加しました。写真はいくつかの瞬間を捉えています。

新年子ども大会

子ども大いに楽しむ

新春恒例の「新年子ども大会」が市教育委員会、市児童文化研究会、市子ども会育成連絡協議会などの共催で一月二十一日、市中央公民館で開かれました。今年で三十回目。

この日集まったのは幼児・小学生とその保護者ら三百五十人。盛り沢山のプログラム、まずは昔懐かしいわらべうたの紹介から。小学生から主婦まで幅広い年齢層の人が参加する「メルヘンの会」のメンバーが「通りゃんせ」などを披露。お父さんやお母さんは自分たちの子どものころを思い出して懐かしそうに、小さい子どもたちはやってみるうちに熱心に見ていました。

続いて児童文化研究会の会員による手品や童話「白羽の矢」、影絵「たぬきの糸車」、お母さんたちのグループ・ムクムクの会による人形劇「泣いた赤鬼」、鳥見小学校ブラスパンドの演奏とつづき、テレビ世代の子どもたちも目を輝かせ、歓声を上げて楽しいひと時を過ごしました。



岡田真理さんの作品

白川真理子さんの作品



2月11日 市民マラソン

恒例の市民マラソンが今年も2月11日(土)「建国記念の日」に開かれます。今年で二十三年目を数えるこの大会は、だれもが気軽に参加できるマラソン大会として、市民の間ですっかり定着したようで、年々参加者が増えています。今年は、75歳の男性を最高齢に中学生まで、過去最高の千二百八十四人が、十、五、十、中学駅伝、中学女子(三、五)の各クラスで健脚を競います。

また、今回ゲストランナー

平城山に繰り広げる 一、二八四人の快走

恒例の市民マラソンが今年も2月11日(土)「建国記念の日」に開かれます。今年で二十三年目を数えるこの大会は、だれもが気軽に参加できるマラソン大会として、市民の間ですっかり定着したようで、年々参加者が増えています。今年は、75歳の男性を最高齢に中学生まで、過去最高の千二百八十四人が、十、五、十、中学駅伝、中学女子(三、五)の各クラスで健脚を競います。



木下八千代さん



深尾真美さん

ひのき舞台で活躍。また、木下さんは市民マラソン第二十回・二十二回大会の優勝者で、大阪国際女子マラソンをはじめ数々のレースに出場のママさんランナー。ともに、日本を代表するトップランナーとしてその快走ぶりが沿道をわかせてくれるそうです。当日は中学駅伝の午前9時45分のスタートを皮切りに約一分間隔で一部、二部男・女、中学女子と次々にスタートします。

深尾さんは、昭和六十年に開かれた「ユニバーシアード神戸大会」で二時間四十四分五十四秒の記録で優勝、その後も大阪国際女子マラソン大会やアジア大会など世界の

また、コースとなる道路では上図のとおり交通規制(午前9時半〜同11時の間)が実施されますので気を付けてください。

女子ロードレース 来月19日、10thコース

「奈良女子ロードレース」が市・市教育委員会などの後援で、今年もつぎのとおり開かれます。とき3月19日(日)午後1時スタートコースは鴻ノ池陸上競技場〜やすらぎの道〜一条通り〜転々門〜奈良街道〜大仏前〜飛火野〜奈良教育大折返し〜十ヶ谷〜種別十ヶ谷ロードレース(第一部)・十ヶ谷健康ロードレース(第二部)参加資格第一部(昭和63年度日本陸上競技連盟登録・

鴻ノ池陸上競技場開放日! とき2月19日(日)午前9時〜正午は体力測定・ジョギング、午後1時〜4時は陸上競技経験者の競技練習(投てきはなし)・ジョギング【お願い】学校のクラブ活動はご遠慮下さい。運動ぐつを必ず使用。電話070-0001

お水取りの お勉強会

3月4日に市中央公民館と二月堂で開く

中央公民館では、大和の伝統行事で有名な東大寺修二会(お水取り)の学習会をつぎのように開きます。とき3月4日(土)午後3時から▽とろろ中央公民館へ。

民館と東大寺二月堂▽講師 華嚴宗管長・東大寺別当の狭川宗玄氏▽内容▽午後3時〜5時まで公民館で映画と講演があり、そのあと午後6時から二月堂でおたいまつを見学して内陣で初夜の行法を拝観し、随時解散▽定員三百人。二月堂内での拝観は五十人(希望者多数の場合は抽選)▽受講・拝観料は無料。参加希望者は往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を書いて2月15日までに同公民館(〒630上三条町二二四、電話六五〇六)へ送付してください。

富雄南公民館 電話三〇六六番 時間三〇六六番 ヘルシークッキング教室 2月18日〜3月25日の毎週土曜日(3月4日を除く)午前9時半〜正午。女性二十人。材料費は各自負担。デンマーク・リズム体操教室 肩こり防止等に効果があつて、音楽にあわせ気軽にできる体操です。2月21日〜3月28日の毎週火曜日の午前10時〜午前11時半。女性二十五人。※受講希望者は往復はがきに講座名、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて2月10日までに必着で同館へ。一枚のはがきに一人限り。応募者多数の場合は抽選。

都路公民館 電話三〇四四番 時間三〇四四番 たのしい盆栽教室 2月16日〜3月30日の毎週木曜日午後1時〜4時。成人二十人。受講希望者は往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を書いて2月10日までに必着で同館へ。一枚のはがきに一人限り。応募者多数の場合は抽選。

市オリエンティング3級公認指導員認定講習会 市野外活動協会と市教育委員会の共催で、市オリエンティング3級公認指導員認定講習会を次のように行います。とき2月25日(土)・3月4日(土)の午後2時〜6時と3月5日(日)の午前9時〜午後4時▽とろろ市野外活動協会(半田町)▽対象▽市内在住・在勤・在学で「一次課程」は満20歳以上の人二十人、「二次課程」は一次課程終了後3カ月以上経過した人十五人▽受講料三千円。受講希望者ははがきに住所、氏名、生年月日、年齢、電話番号、勤務先、オリエンティング経験の程度、一次・二次の別を書いて2月13日までに必着で〒630-21

西部図書館 電話五五九六番 成人文学講演会 2月28日(火)午前10時〜正午。テーマは「生命満開」講師は日本画家の佐藤勝彦さん。定員八十人。締め切り2月23日。美術史講座 2月16日(木)・3月16日(木)午前10時〜正午。テーマは「絵画でたどるイエスの生涯」キリスト教美術の歴史。講師は近畿大学講師の岸文和さん。定員八十人。締め切り2月12日。※参加希望者は電話で同館へ。定員超過の場合は抽選(選外者のみ連絡)。なお

21世紀に向けての中小企業 27日に講演会 21世紀に向けての奈良市の中小企業のあり方を考える「中小企業講演会」をつぎのように開きます。受講希望者は、はがきに住所、氏名、電話番号を明記して2月18日までに市商工課(〒630二条大路南一丁目一、電話一一一一)へ申し込んでください。電話でも可。とき2月27日(月)午後1時〜3時▽とろろ春日野荘(法蓮町)▽テーマ・講師「21世紀に向けての中小企業―新しい時代の奈良の活気を求めて―都市問題経営研究所所長藤田邦昭氏▽定員三百人。

2月 市移動図書館巡回日程

市立図書館(高畑町)が遠隔地区へのサービスとして、移動図書館を巡回させています。移動図書館は市内の駐車基地を巡回(駐車時間は1ヵ所1時間半)し、図書の貸し出しと回収に当たっています。

しかし、移動図書館が一度に積める図書は約2,500冊なので、さらに多くの読書家にこたえるべく本のリクエスト制によって申し込みを受け付けていますので巡回時に申し込んでください。なお、3月は連休します。

【駐車時間】A=午後0:30〜2:00、B=午後2:30〜4:00

巡回日	駐車時間	駐車場所
2月1日(水)	A B	富雄団地集会所前 二名町三松ヶ丘第1号児童公園
2月2日(木)	A B	富雄元町1丁目第1エクセルハイツ駐車場 菅原町290-1空地
2月3日(金)	A B	南永井新町1-3児童公園前 東九条町宮ノ森住宅集会所前
2月7日(火)	A B	中登美団地D12棟とD14棟の間 富雄北3丁目松ヶ丘児童公園前
2月8日(水)	A B	右京5丁目右京団地33号棟前広場 平城第2団地集会所前
2月9日(木)	A B	帝塚山5丁目バス停前 帝塚山3丁目集会所前
2月10日(金)	A B	中町藤ノ木第2号児童公園前 京西公民館前
2月14日(火)	A B	法華寺駐車場 山陵町自衛隊通信所前の空地
2月15日(水)	A B	平城3号近隣公園 平城第2運動公園駐車場
2月16日(木)	A B	富雄泉ヶ丘ABC児童公園前 帝塚山南4丁目児童公園池前
2月17日(金)	A B	千代ヶ丘1丁目集会所前 学園大和町1丁目学園大和第1号児童公園
2月21日(火)	A B	富雄公民館駐車場 あやめ池下池駐車場
2月22日(水)	A B	佐保台2丁目第3号児童公園横 青山6丁目集会所前

国民健康保険料(第6期分)の納期です

2月10日〜28日は 国民健康保険料(第6期分)の納期です

